



アイゴアアの妙！

工夫次第で表情一変又！

尚林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 1096-3
Tel:042-622-8840

VOL.8

住人のセンスが問われる…？

ただブロックを積むだけの門柱の玄関先、近頃よく目する風景です。没個性で魅力に乏しい住人のセンスも問われがちです。そこで今回、ご参考頂きたく三つの作例をご紹介します。

一例目。ブロックを積んだ後、変化を持たせた立ち上がりの化粧塗り足下に花壇を設け、玄関先への奥行きとゆとりを設けた作例です。

【作例1】

曲線のアプローチが建物の直線を和らげている。



二例目、小さな子供がいる家は、自転車などごちゃごちゃしがちな生活空間を、木製の目隠しを兼ねた塀でスッキリ感を演出。



木製フェンスと石の前後が奥行きを出しながら目隠しの役目、大。

三例目は、隣家との境界のブロック塀のリフォームの作例で、全部を解体するのではなく、高さを低くし所々に空間を残し、中の鉄筋を活かし茶室の「有楽(うらく)窓」風の処理が妙案！

【作例3】

安全性を確保しながらもオシャレに補修。



【作品例3】その2

隣地の方からも仕上がりにも喜びの声が！



前回のねじ花の頂で歌の結句「誰ならなくに」が、「我ならなくに」の誤りではの指摘がありました。お詫びして訂正します。ご指導有り難う御座います。そこで今回も、

小倉百人一首から「サネカブラ」を取り上げました。又の名を「美男カブラ」といい、樹液を整髪料に使ったことからこの名になったとの説。

夏の終り、球形の赤い実をつける、つる性の多年草です。「名にし負はば逢坂山のさねがづら、人に知られで来るよしもがな」逢坂山の「逢」と、さねがづらの「さ寝(共寝)」をかけ言葉に、つるを手繰って、人に知られることなく

添寝がしたいと、何と色と艶っぽい恋歌で、直裁的な表現だこと…

天声樹語

建て売りの住宅でゆくと、まさにシヨールムの意味あいを含めた、いわば、庭を見る喫茶店として庭カフェ美し郷(うましさと)を開園して、早や3カ月程が経ちました。本来は編集後記というところですが、お礼とご報告を兼ねて再度の紹介をさせて頂きます。

お陰様でリピーターの数も増し、園内の剪定の様子を見て自庭の手入れをとの要請も頂く等、当初の目的の一つでもある依頼も数件を数えるようになりました。日本百名城の一つ、八王子城跡の自然豊かな立地です。皆様のご来園を心よりお待ちしております。来たる十月に、第一回八王子城祭りが開催されます。

庭カフェ 美し郷(うましさと)

住所 八王子市元八王子町三ー一六三八ー一
八王子城址手前300m右側です。